



一般社団法人東京都中小企業診断士協会 城南支部  
財務診断研究会

# 工作機械製造業の財務分析

2020年5月20日

中小企業診断士

竹迫 純一

# 自己紹介

**名前** 竹迫 純一（たけさこ じゅんいち）

**所属** 株式会社 I H I グループ業務統括室  
（その前は、情報システム部門 15年）

## **診断士活動**

2018年11月登録 2019年5月から城南支部入会

実務補習 高田先生、足立先生、小黒先生

実務実習 大塚商会主催

## 研究会活動

財務診断研究会

ものづくりイノベーション研究会

新談士の会



# 目次

1. 工作機械業界の状況
2. 分析対象会社の紹介
  - (1) アマダ
  - (2) DMG森精機
  - (3) ファナック
  - (4) 3社比較
3. 個人ワーク
4. グループワーク
5. 発表

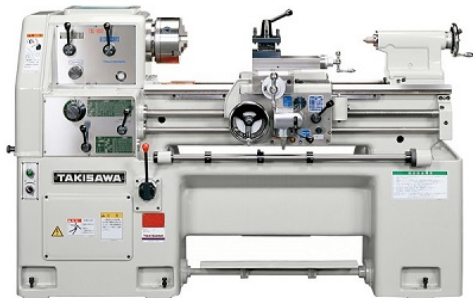
# 1. 工作機械製造業の状況

# 工作機械とは

- 精密で複雑な部品を正確かつ効率的に作ることが工作機械の役割
- すべての機械やそれらの部品は工作機械を通じて作られていることから、  
「**機械を作る機械**」「**マザーマシン(母なる機械)**」ともいわれる。
- 工作機械は、**広義には「切削、研削、せん断、鍛造、圧延等により金属、木材、その他の材料を有用な形にする機械」と定義される。**
- 日本工業規格(JIS)の定義  
「主として金属の工作物を，切削，研削などによって，又は電気，その他のエネルギーを利用して不要な部分を取り除き，所要の形状に作り上げる機械。ただし，使用中機械を手で保持したり，マグネットスタンド等によって固定するものを除く。狭義であることを特に強調するときには，金属切削工作機械と表現することもある。」
- 素材のせん断、プレス、曲げ加工といった非除去加工の機械（シャーリングやプレスブレーキなど）は、工作機械に含まれません。板金機械と呼ばれています

# 工作機械とは

## 旋盤



回転する台に加工物を取りつけ、刃物(バイト)を当てて工作物を削って作り出す機械

## フライス盤



回転する主軸に刃物(フライス)を取り付け、固定した素材を削って加工物を作り出す機械

## マシニングセンター



複数の刃物を自動で交換できる装置を持ち、プログラミング制御に従って穴開けや平面削りなどを1台でこなせる機械

## 研削盤



高速で回転する砥石に素材を押し当て、少しずつ削り取っていく機械

## ボール盤



木材や金属素材に穴を開けたり、穴を掘り広げるための工作機械

<https://www.kousakukikai.tech/machinetools/>

# 工作機械とは

## アマダ

### パンチ・レーザー複合マシン



### ベンディングマシン

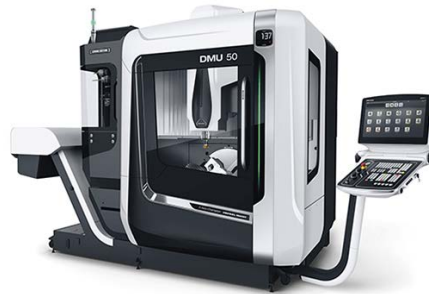


### 縦型バンドソー



## DMG森精機

### 5軸/複合加工機



### ターニングセンタ(旋盤)



### マシニングセンタ



## ファナック

### CNC



### ロボット



### ロボドリル(小型切削加工機)

### ロボナノ (超精密加工機)



## E 製造業

### 26 生産用機械器具製造業

#### 266 金属加工機械製造業

##### 2661 金属工作機械製造業

主な製品：旋盤、ボール盤、中ぐり盤、フライス盤、研削盤、歯切盤  
及び歯車仕上げ機械、専用機（金属工作機械）、マシニング  
センタ、放電加工機など

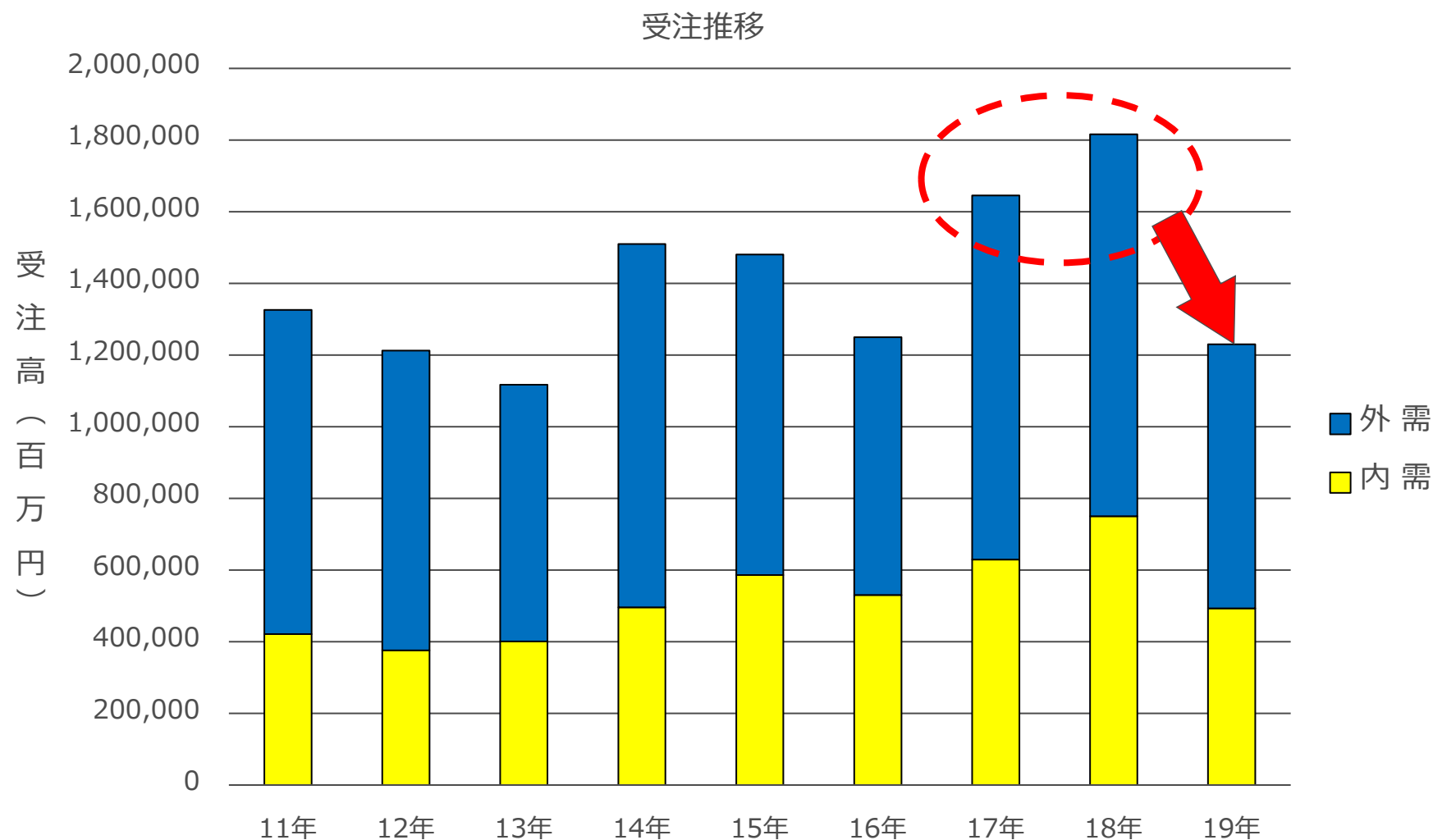
##### 2662 金属加工機械製造業（金属工作機械を除く）

主な製品：圧延機械、線引機、製管機、ベンディングマシン、液圧プ  
レス、機械プレス、せん断機、鍛造機、ワイヤフォーミング  
マシン、人カプレス、ガス溶接機など



- 工作機械業界は、**決算シーズンに注目**される業界の一つ。
- 自動車や電子機器の金型や部品を作り出す業界の動向は**製造業の設備投資意欲を映す景気の先行指標**とされる。
- 日本工作機械工業会「**月次受注速報**」は機械銘柄のみならず、広範な株価に影響を与える。
- 市場は2008年のリーマンショック以降、スマホ普及による新モデル登場に合わせた**特需と、その反動とを繰り返して**きた。
- 近年は最大市場である中国の動向に牽引され**18年度の受注高**は1兆8158億円と、**2年連続で過去最高**を更新した。
- そんな空前の活況に**米中貿易摩擦が水を差した**。18年初からスマホ特需の反動減発生は見込まれていた。さらに同年夏ごろからは貿易摩擦による景気減速を恐れた中国メーカーが設備投資を控え始め、受注が減速していった。中国市場の停滞に引きずられて欧州、米国向けの受注も減少。各社は**19年度の業績予測を減収減益とみる**。中国を中心にリードタイムが短い小型機を納入していたファナックやブラザー工業は18年度に早くも前期割れに見舞われた。
- 一方ヤマザキマザックはじめ複数のメーカーは逆張りの増産投資を計画。日本の人手不足や中国の人件費高騰を背景とした**省人化投資や、5G・自動運転などの最新技術登場に伴う設備投資の活性化**が見込まれるからだ。
- 前年割れを免れない中、**次の大波を待ち、爪を研ぐ1年**となりそうだ。

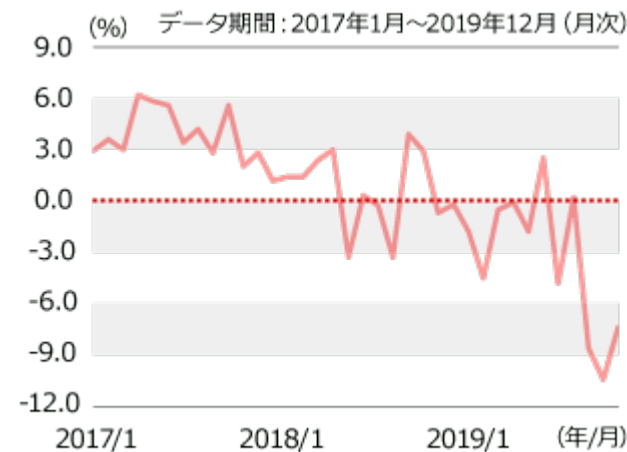
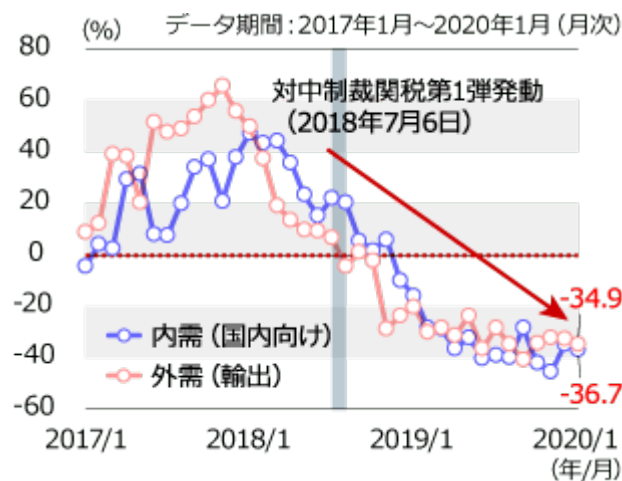
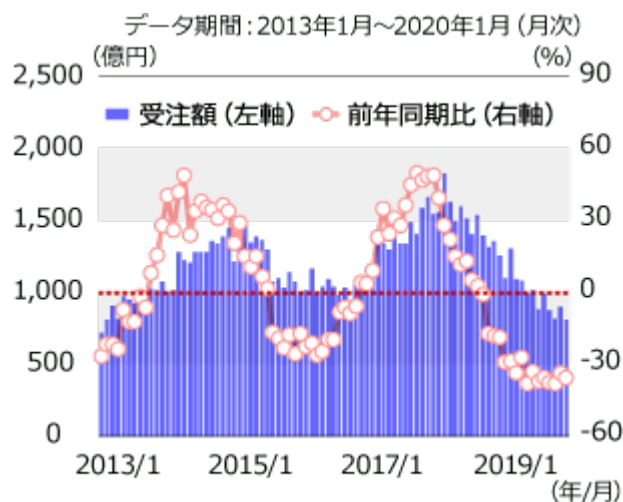
# 工作機械ビジネス市場全体像（工作機械受注統計）



日本工作機械販売協会（工作機械受注統計）  
<http://www.nikkohan.or.jp/toukei/>

## 工作機械受注 回復の兆し見えず

- 2020年1月の工作機械受注額は、前年同期比－35.6%の808億円となり、**16カ月連続の減少**。
- 米中貿易摩擦を受けた世界経済の不透明感の高まりなどから、企業が**設備投資を控えた**ことが影響か。
- **新型肺炎の感染拡大や企業の設備投資抑制の継続**などにより、**工作機械受注の反転には時間を要するか**。



## 2. 分析対象会社の紹介

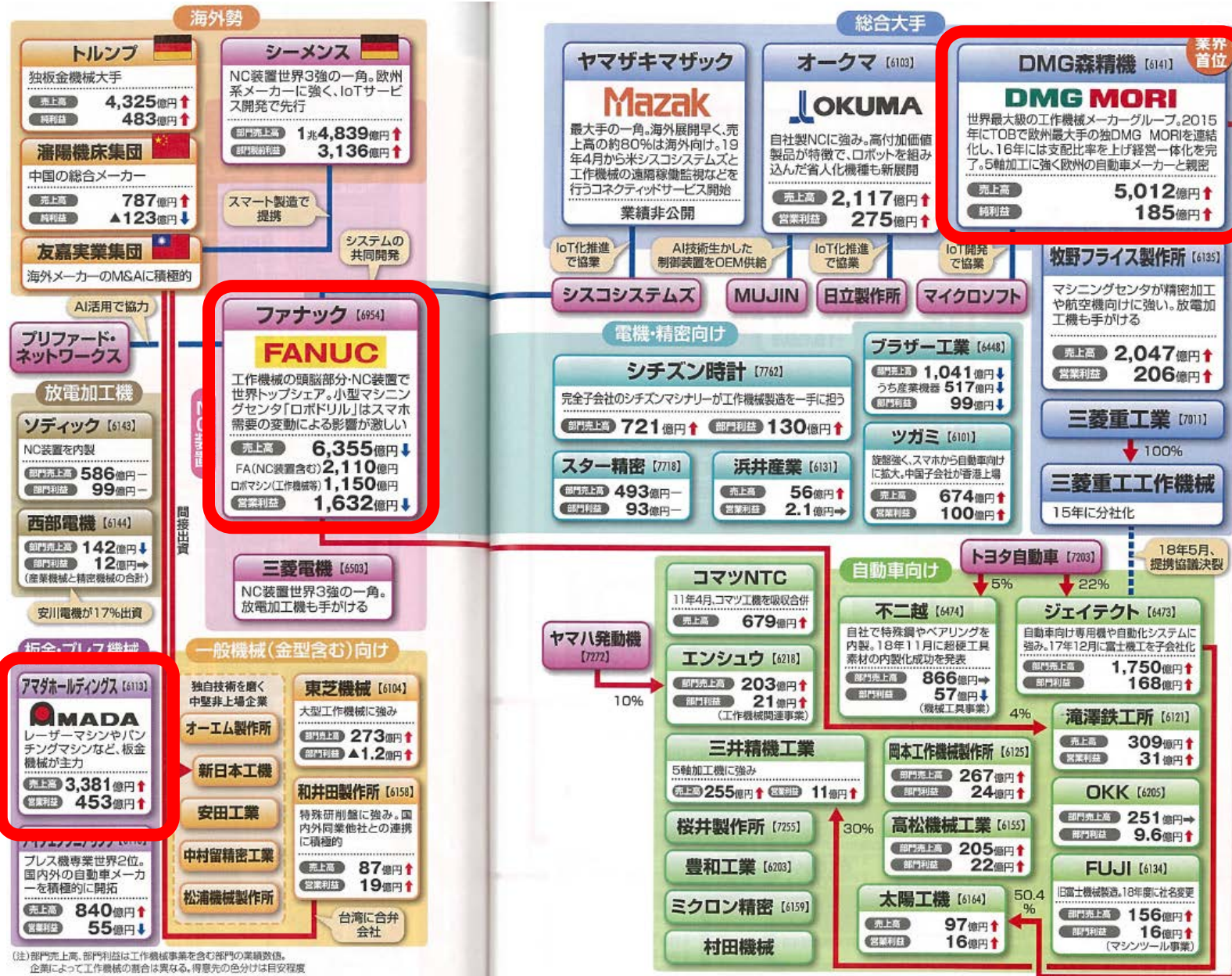
# 各社の位置づけ

## 工作機械業界 売上高 & シェアランキング（2018年-2019年）

企業名		売上高	シェア	単位：億円
1	ファナック	6,355 ↓	11.8	
2	DMG森精機	5,012 ↑	9.3	
3	マキタ	4,905 →	9.1	
4	安川電機	4,746 ↗	8.8	
5	THK	3,534 ↑	6.6	
6	アマダHD	3,384 ↑	6.3	
7	不二越	2,522 ↗	4.7	
8	オークマ	2,117 ↑	3.9	
9	牧野フライス製作所	2,047 ↑	3.8	
10	コマツ (※)	2,032 ↑	3.8	


<https://gyokai-search.com/3-koki.html>

# 工作機械全体像（業界地図 2020年版から）





# 分析対象 3社の概要

	アマダ (6113)	D M G 森精機 (6141)	ファナック (6954)
ロゴ		<b>DMG MORI</b>	<b>FANUC</b>
所在地	神奈川県伊勢原市	名古屋市中村区名駅	山梨県忍野村
特色	金属加工機械の総合メーカーで世界首位級。板金加工機は国内シェア6割。配当性向50%メド	N C 旋盤・マシニングセンタ (M C) で最大手格。T O B で独 D M G を連結化し、経営一体化	工作機械用 N C (数値制御) 装置世界首位。産業用ロボや小型マシニングセンタも。配当性向60%
設立	1948年5月1日	1948年10月26日	1972年5月12日
資本金	54,768百万円	51,115百万円	69,014百万円
売上高	338,175百万円	485,778百万円	508,252百万円
経営利益	47,913百万円	31,451百万円	102,816百万円
従業員数(連結)	9,494人	12,837人	7,866人
平均年収(年齢)	7,260千円(43.6歳)	8,050千円(40.7歳)	13,640千円(40.8歳)

## 分析対象 3社の概要

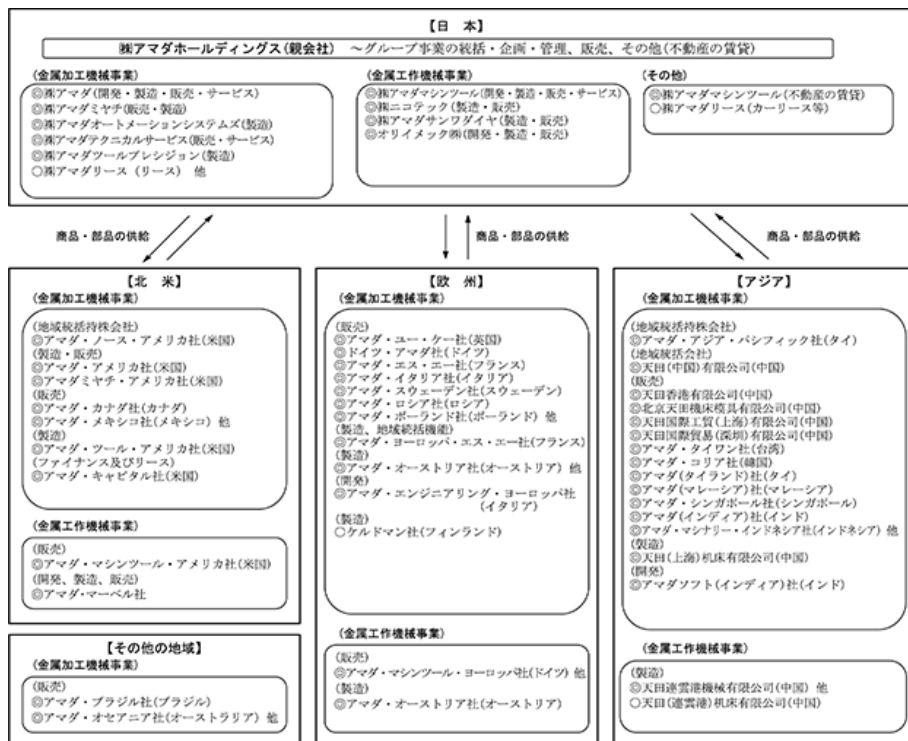
	アマダ (6113)	DMG森精機 (6141)	ファナック (6954)
特徴	金属加工機械分野（特に板金機械）で国内トップシェアを誇る。また割賦販売で中小企業、および海外への開拓に積極的。板金加工機分野に特化し、選択と集中戦略に基づき成長。維持保守やアフターサービスも責任をもって対応。顧客の製造現場で派生するトラブル・ニーズをキャッチし迅速に新製品に反映。	主にCNC旋盤やマシニングセンタの、ともに中型機を手掛けている。工作機械製造会社としての歴史は古くないが、機械工作の主流が数値制御（NC）へと移って以降急伸した。現在は日本では、奈良県大和郡山市、三重県伊賀市の2箇所、海外ではアメリカ、中国、ドイツ、ポーランド、イタリア、ロシアの10箇所に構えている。	工作機械用CNC（コンピュータ数値制御）装置や産業用ロボットなどの市場占有率が高い。CNC装置、世界シェアの約50%、日本でのシェアは70%に達する。産業用ロボットにおいても、世界シェアの18.5%で世界首位。サーボモータやビジョンセンサなどの内製化や、自社工場内での自社製産業用ロボットの活用で圧倒的高利益体質。技術流出防止のため、日本生産にこだわり。



# (1) アマダ

## 組織

## 沿革



凡例：◎連結子会社 ○持分法適用会社

1946年9月	東京都豊島区高田南町にて創業
1948年6月	合資会社天田製作所設立
1964年1月	商号を変更し、株式会社アマダと称する
1969年4月	本店所在地を東京都中野区から神奈川県伊勢原市に移転
1971年1月	米国に現地法人ユー・エス・アマダ社を設立
1972年8月	英国に現地法人アマダ・ユー・ケー社〔連結子会社〕を設立
1972年10月	ドイツの現地機械商社を買収し、ドイツ・アマダ社〔連結子会社〕を発足
1978年3月	園池販売株式会社の株式を株式会社園池製作所より譲り受け
1978年4月	ワシノ機械株式会社の第三者割当増資引受により同社株式の16.7%を取得
1978年5月	アマダマシンツールプラザ(現アマダマシンツールプラザ第2)を新設
1980年1月	米国に現地法人アマダ・エンジニアリング・アンド・サービス社を設立
1982年1月	イタリアに現地法人アマダ・イタリア社〔連結子会社〕を設立
1984年9月	中華民国に現地法人天田股份有限公司〔連結子会社〕を設立
1986年9月	プロメカム・シリン・レマン社(仏国)を買収、アマダ・イス・エー社(現アマダ・ヨーロッパ・イス・エー社)
1986年12月	オーストリアに現地法人アマダ・オーストリア社〔連結子会社〕を設立
1987年5月	カナダに現地法人アマダ・プロメカム・カナダ社〔連結子会社〕を設立
1989年6月	シンガポールに現地法人アマダ・シンガポール社〔連結子会社〕を設立
1992年4月	ソフト工房棟、研修棟「フォーラム246」を新設
1994年9月	香港に現地法人天田香港有限公司〔連結子会社〕を設立
1995年6月	タイに現地法人アマダ(タイランド)社〔連結子会社〕を設立
1996年3月	マレーシアに現地法人アマダ(マレーシア)社〔連結子会社〕を設立
1998年3月	大韓民国の当社販売代理店であるカンコク・アマダ社(現アマダ・コリア社)〔連結子会社〕の全株式を取得し、販売子会社として発足
1998年9月	オーストラリアに現地法人アマダ・オセアニア社〔連結子会社〕を設立
2000年3月	インドに現地法人アマダ(インドネシア)社〔連結子会社〕を設立
2008年4月	トルコにアマダ・トルコ社〔連結子会社〕を設立
2009年7月	イタリアのジョル・イス社(現アマダ・エンジニアリング・ヨーロッパ社)〔連結子会社〕を買収
2009年9月	ドイツにアマダ・マシンツール・ヨーロッパ社〔連結子会社〕を設立
2009年10月	ベトナムにアマダ・ベトナム社〔連結子会社〕を設立
2011年8月	ブラジルにアマダ・ブラジル社〔連結子会社〕を設立
2012年2月	スイスの現地機械商社を買収し、アマダ・スイス社〔連結子会社〕を発足
2015年4月	持株会社制への移行に伴い商号を株式会社アマダホールディングスに変更

# (1) アマダ

## セグメント情報

### 金属加工機械事業

#### ・板金商品

(レーザマシン、NC付タレットパンチプレス〔NCT〕、パンチ・レーザ複合加工機、プレスブレーキ、ベンディングロボット、シャーリング、板金加工システムライン、FA用コンピューター、FA用ソフトウェア等)

### 金属工作機械事業

#### ・切削商品

(金切帯鋸盤、形鋼切断機、ボール盤、金切帯鋸刃等)

#### ・プレス商品

(メカニカルプレス、プレス加工自動化機械装置)

#### ・工作機械

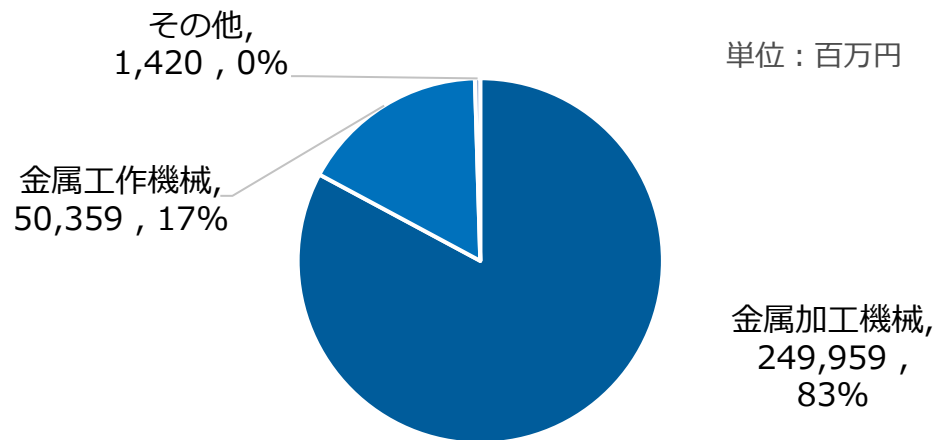
(研削盤等)

### その他

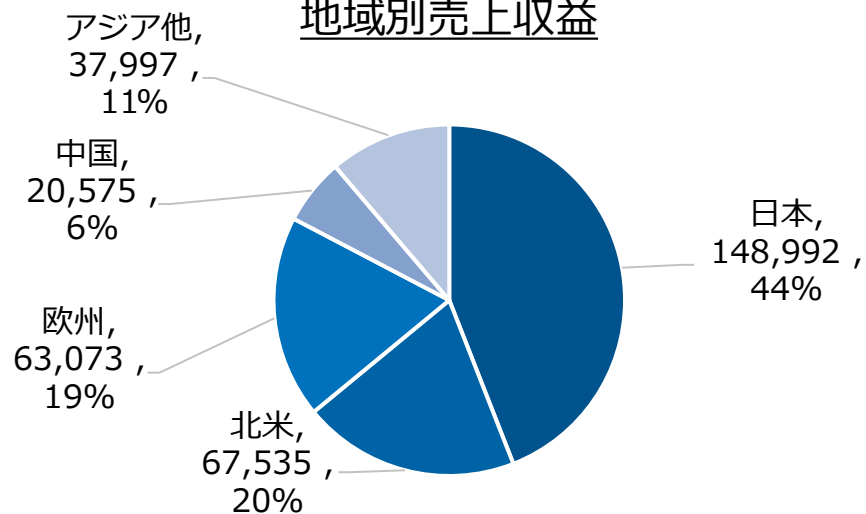
#### ・不動産の賃貸等

## セグメント別売上収益

単位：百万円



## 地域別売上収益



## 経営理念



### ① お客さまとともに発展する。

私たちは、この理念を創業時から現在にいたるまで、すべての事業活動の原点として共有しています。お客さま視点に基づいた新たな価値の創造とその提供が、お客さま・アマダグループ相互の信頼関係をより強固にし、双方発展の源泉になると考えます。

### ② 事業を通じた国際社会への貢献。

世界のお客さまの『モノづくり』に貢献することは、地域社会さらには国際社会の発展にもつながるものと認識し、グループの経営資源を最適配置し世界の各市場で最高のソリューションを提供すべく事業活動を展開します。

### ③ 創造と挑戦を実践する人づくり。

私たちは、常に現状をベストとせずさらに良い方法がないかを考え行動し、事業活動の改善・向上を図ります。これは、アマダグループの人材育成の基本理念であり、その実践の積み上げがアマダ独自の企業風土を醸成していくものと考えます。

### ④ 高い倫理観と公正性に基づいた健全な企業活動を行う。

アマダグループの経営および業務全般にわたって、透明性の確保と法令遵守の徹底を図り、健全な企業活動の上で、より一層の企業価値向上を目指します。

### ⑤ 人と地球環境を大切にする。

アマダグループにかかわるすべての人（株主、顧客、取引先、従業員、地域住民など）、および地球環境を大切にし、人と地球にとって良い企業であり続けます。

# (1) アマダ

## ■ 直販システム

✓ 顧客へのダイレクト販売 ⇒ 顧客ニーズ対応・関係強化のシステム化

## ■ ソリューションセンター（伊勢原本社）

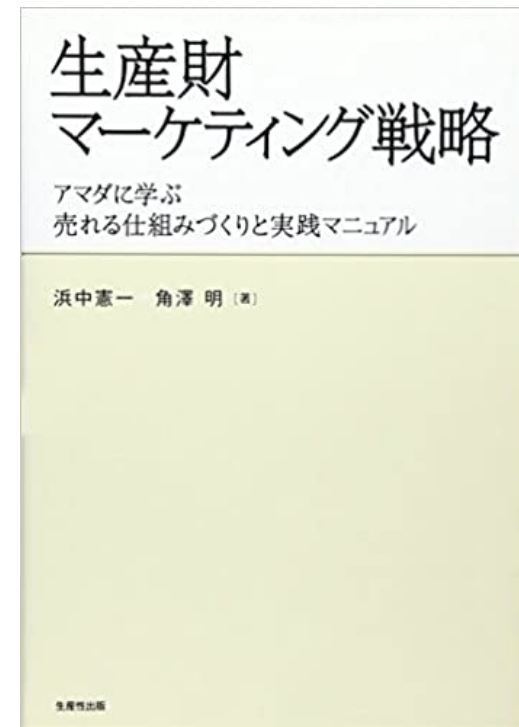
✓ 顧客の課題解決のための「提案」 ⇒ 展示場・実証加工の機能

## ■ イノベーションセンター（富士宮事業所）

✓ テーマごとの開発機能

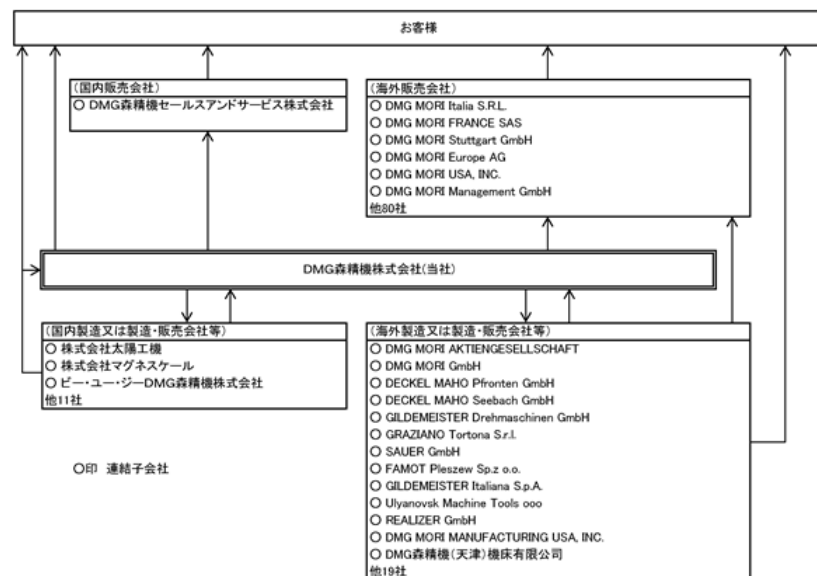
## ■ 顧客との信頼関係を構築する差別化の仕組み

- ✓ 顧客の「買う理由」を訴求：展示場や研修棟
- ✓ 顧客から「買った理由」を訴求：事例研究会、1-ザ 見学会
- ✓ 顧客から「買い続けたい理由」を訴求：接待施設  
⇒ブランド構築とファン化



## (2) DMG森精機

### 組織



### 沿革

1948年10月	奈良県大和郡山市北郡山町318番地において株式会社森精機製作所（現DMG森精機株式会社）を設立し、繊維機械の製造・販売を開始。
1958年5月	繊維機械の製造を中止し、工作機械(高速精密旋盤)の製造・販売を開始。
1968年4月	数値制御装置付旋盤の製造・販売を開始。
1981年5月	立形マシニングセンタの製造・販売を開始。
1982年7月	MORI SEIKI G.M.B.H.(現DMG MORI Global Marketing GmbH)設立。
1983年8月	MORI SEIKI U.S.A., Inc. (現DMG MORI USA, INC.) 設立。※
1999年5月	名古屋市中村区に名古屋ビル建設。
2001年1月	上海森精機机床有限公司を設立。
2001年5月	株式会社太陽工機の発行済株式の40%（現50.16%）を取得。※
2002年6月	DTL MORI SEIKI, INC.を設立。
2002年9月	日立精機株式会社及び日立精機サービス株式会社より営業の一部を譲受。
2004年8月	伊賀事業所内に特機工場、人材開発センター(現DMG森精機アカデミー)を建設。
2004年10月	本社機能を奈良県大和郡山市より愛知県名古屋市に移転。
2009年3月	GILDEMEISTER AG（現DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT、以下、「DMG MORI AG」）との間で業務・資本提携を合意。※
2010年3月	株式会社マグネスケールの発行済株式を100%取得。※
2010年5月	MG Finance GmbH（持分法適用関連会社、現DMG MORI Finance GmbH）を設立。
2012年7月	DMG MORI MANUFACTURING USA, INC.が操業開始。 森精機(天津)机床有限公司(現DMG森精機(天津)机床有限公司)を設立。
2013年9月	DMG森精機(天津)机床有限公司が操業開始。
2013年10月	商号をDMG森精機株式会社へ変更。
2014年7月	東京都江東区に東京グローバルヘッドクォータをグランドオープン。
2018年1月	株式会社野村総合研究所とテクニウム株式会社を共同設立。
2018年6月	東京都江東区に東京デジタルイノベーションセンタを開所。
2018年10月	最新デジタル技術を取り入れた新工場棟をFAMOT工場（ポーランド）内にグランドオープン。※
2019年10月	インドLakshmi Machine Works Limitedにおいて立形マシニングセンタの委託生産を開始。

## (2) DMG森精機

### セグメント情報

#### マシンツール

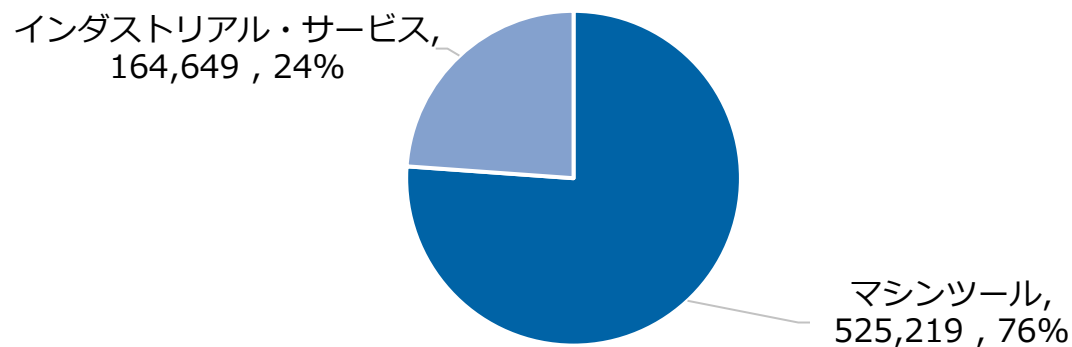
・工作機械の製造及び販売

#### インダストリアル・サービス

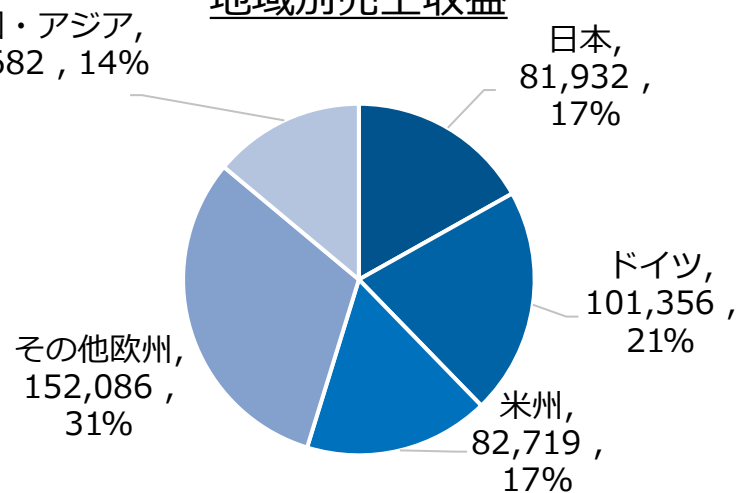
・工作機械に関連するサービスやソリューションの提供

### セグメント別売上収益

単位：百万円



### 地域別売上収益



## (2) DMG森精機

### 経営理念

私たちは、

独創的で、精度良く、頑丈で、故障しない機械を最善のサービスとコストで  
お客様に供給することを通して、ターニングセンタ、マシニングセンタ、複合加工機、研削盤で、  
グローバルワンを目指す

私たちは、

最新、最高の開発技術、  
正確、緻密な生産技術、  
的確、迅速な、販売・サービスで、  
全世界のお客様の生産性と効率性の向上の為に不断の努力を行う

私たちは、

チームワークを重視し、まじめで情熱的な努力を評価する。  
元気良く、活気があり、陽気な職場でお互いの意見を尊重し、日々の改善改良を行い、  
切磋琢磨して共に成長する

私たちは、

グローバルに展開する企業として、公正でオープンな企業文化を育み、世界最適経営を実践する

私たちは、

パートナーと共に繁栄する

私たちは、

工作機械産業を理解する株主の為に企業価値を高め、株主利益の拡大を図る

私たちは、

私たちの提供する商品、サービスの価格設定が企業の繁栄、  
永続の為に非常に重要であると考えている

私たちは、

将来の研究開発のため、  
安定したお客様サービスのため、  
継続的な社員教育のため、  
環境良く効率的な工場、安全な労働環境を維持するために必要な、キャッシュフローを得る為に、  
適切な利潤を得る

私たちは、

責任ある企業市民として地域、社会に貢献する

私たちは、

環境資源を大切に地球環境を守る

私たちは、

高い倫理観を持って、社会良識に準拠した企業活動を行う

## (2) DMG森精機

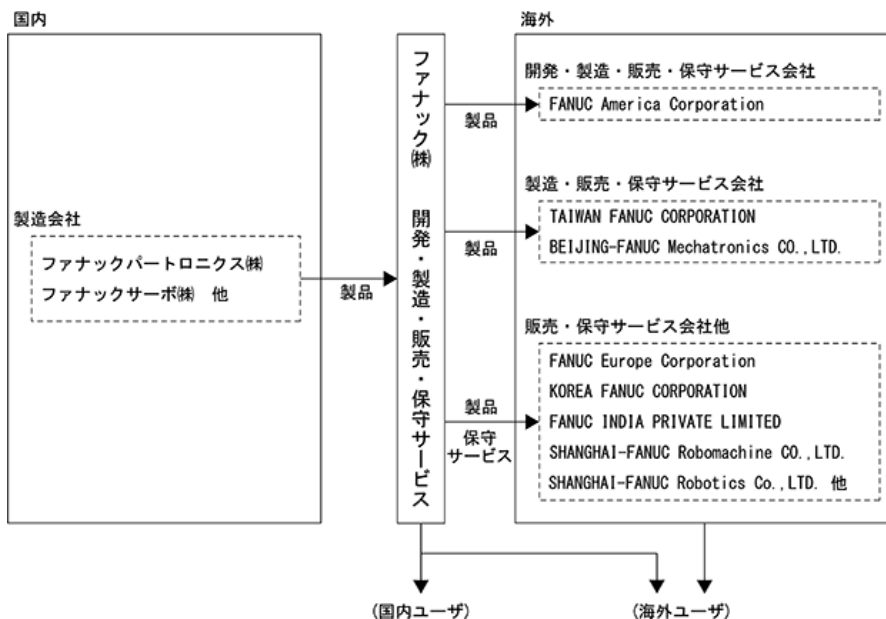
- 繊維機械から工作機械メーカーへの転換
  - ✓ 米国輸出戦略⇒高評価⇒国内鉄工所へ
  - ✓ ファナックなどNCメーカーとの協業
- M&Aでフルラインメーカーへ
  - ✓ 吉田鐵工所:ラジアルボール盤、太陽工機:研削盤、日立精機:関東圏の顧客
  - ✓ ソニー計測機器事業:スケールやセンサーなど計測機器
  - ✓ DMGとの提携・経営統合
- 顧客満足の追求
  - ✓ 技術者を顧客サイトに派遣して教育
  - ✓ 検収後、納入1年後顧客ヒアリング
  - ✓ 苦情後5日以内に回答。1か月後の改善を電話で確認





# (3) ファナック

## 組織



## 沿革

1972年 5月	富士通株式会社よりN C部門が分離し設立、資本金20億円
1974年 7月	米国ゼネラル社とのライセンス契約により、D Cサーボモータの製造販売開始
1975年 6月	ドイツ、シーメンス社と営業、技術に亘る相互援助契約を締結
1977年 11月	米国に現地法人FANUC AMERICA CORPORATIONを設立
1978年 5月	韓国貨泉機工社との共同出資により合併会社リアファナック株式会社を設立
1980年 12月	本社地区(山梨県忍野村)にロボットおよびN C工作機械製造工場を建設移転
1981年 5月	ファナックパートロニクス株式会社を子会社化
1982年 6月	米国ゼネラル モータース 社との共同出資によりGMFANUC ROBOTICS CORPORATIONを設立
1982年 7月	富士通ファナック株式会社をファナック株式会社に社名変更
1984年 10月	東京都日野市より山梨県忍野村へ本店を移転
1986年 12月	米国ゼネラル エレクトリック社との共同出資により、GE Fanuc Automation Corporationを設立、同社の子会社であるGE Fanuc Automation Americas, Inc.およびGE Fanuc Automation Europe S.A.を順次設立
1986年 12月	台湾に現地法人TAIWAN FANUC CORPORATIONを設立
1991年 1月	ドイツに現地法人FANUC EUROPE GmbHを設立
1992年 9月	合併会社 FANUC INDIA PRIVATE LIMITEDを設立
1992年 12月	合併会社北京ファナック機電有限公司を設立
1997年 12月	合併会社上海ファナックロボティクス有限公司を設立
2000年 9月	FANUC INDIA PRIVATE LIMITEDを子会社化
2004年 1月	欧州のサービスおよびセールス(味マシ)の体制を再編し、サービスを統括するFANUC EUROPE GmbHおよびセールスを行うFANUC ROBOMACHINE EUROPE GmbHを設立
2009年 12月	ゼネラルエレクトリック社との合併を解消。米国と欧州におけるC N Cのセールスとサービスを行う会社を再編し、FANUC FA AMERICA CORPORATIONとFANUC FA Europe S.A.が発足
2012年 3月	FANUC Robotics Europe S.A.、FANUC FA Europe S.A.およびFANUC ROBOMACHINE EUROPE GmbH 3社を統合し、FANUC Europe Corporationを発足
2013年 5月	FANUC Robotics America Corporation および FANUC AMERICA CORPORATION 2社を統合し、FANUC America Corporationを発足
2018年 9月	新会社である上海ファナックロボマシナ有限公司が上海ファナックロボティクス有限公司から味マシ部門を引き継ぎ、新たな連結子会社として事業開始

# (3) ファナック

## セグメント情報

### FA部門

- ・ CNCシステム(CNCおよびサーボモータ)レーザ

### ロボット部門

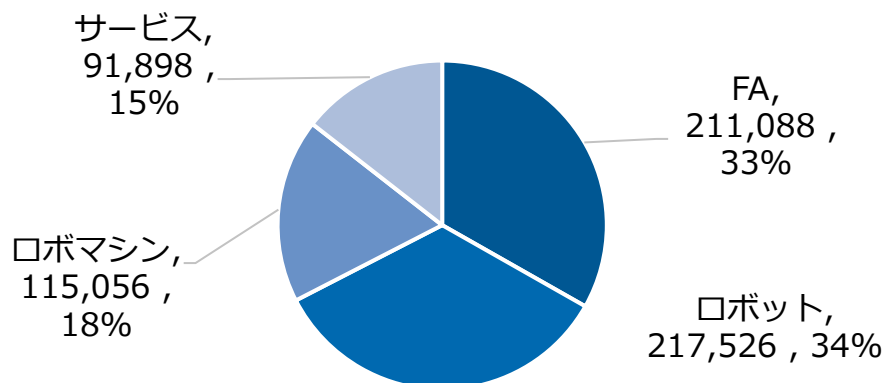
- ・ ロボット(ロボットシステムを含む)

### ロボマシン部門

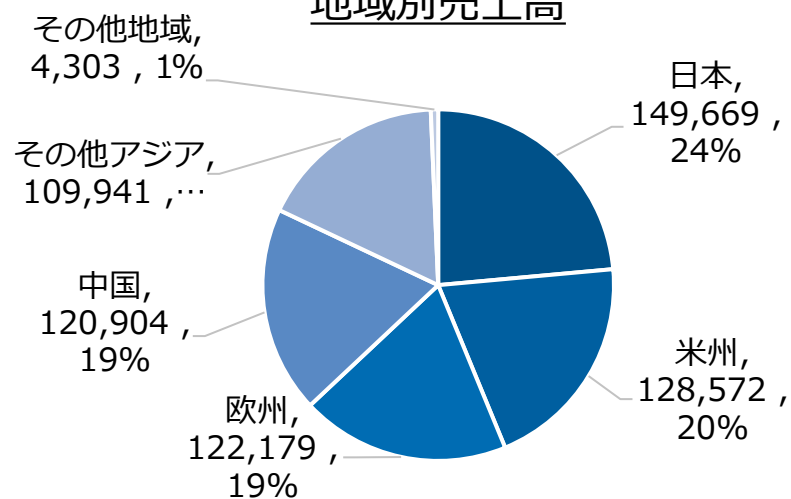
- ・ ロボドリル(小型切削加工機)、
- ・ ロボショット(電動射出成型機)、
- ・ ロボカット(ワイヤカット放電加工機)
- ・ ロボナノ(超精密加工機)

## セグメント別売上高

単位：百万円



## 地域別売上高



### (3) ファナック

ファナックのシンボル - 樺 -



樺の樹

風雪に耐えた太い幹から、今また、若い小枝をいっぱい張り始めている。  
しかもそれが明るく輝いている。  
これは小柄でもがっしりと逞しいファナックが育ちその太い幹から五年後、十年後に新しい技術が生まれてくるだろうという期待と社員全員が誇りを持って巨人のごとき逞しさがある企業にファナックを育て上げていこうではないかという企業理念を表している。

厳密

透明

「厳密と透明」は、ファナックの基本理念です。

"Genmitsu (Strict Preciseness)" and "Tomei (Transparency)" are the basic principles of FANUC.

**厳密** Strict Preciseness

企業の永続性、健全性は厳密から生まれる。

A company will last forever and be sound with strict preciseness.

**透明** Transparency

組織の腐敗、企業の衰退は不透明から始まる。

The corruption of an organization and downfall of a company start from a lack of transparency.

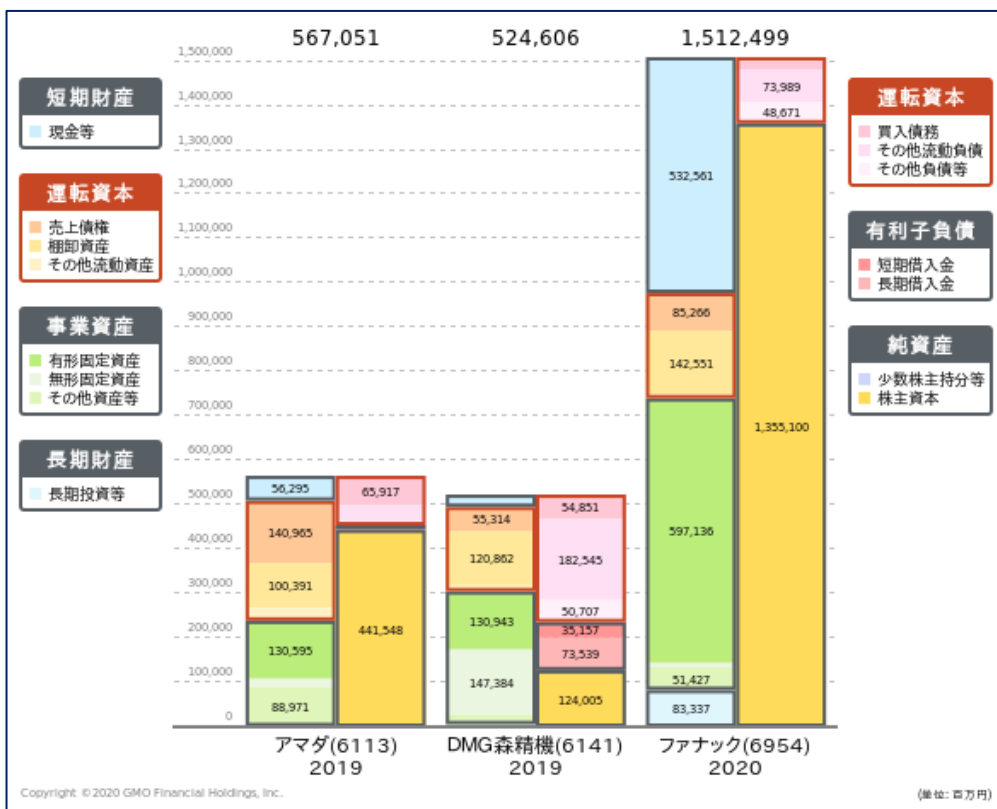
### (3) ファナック

- 富士通からの独立。二刀流マネジメント（活用と探索）
  - ✓ 通信機器で稼ぎつつ工作機械という新たな領域への探索⇒ファナック
- オープンイノベーションの先駆け
  - ✓ 工作機械+コンピュータ
- 日本は工作機械部分とCNC※のモジュラー化による独立した進化。
  - ✓ 米国は航空産業など工作機械の囲い込みによる進化減速
  - ※CNC : Computer Numerical Controller、コンピューター数値制御
- 森精機へも納入。ただし、操作パネルは独自開発。
  - ✓ オリジナルの操作感を実現。大手メーカーのみ



# (4) 3社比較

## BS(2019年)

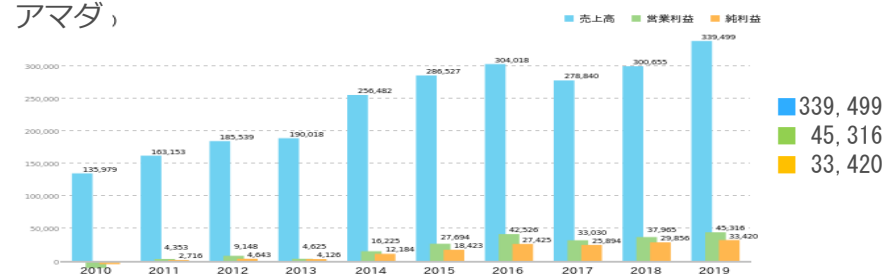


GMOクリック証券

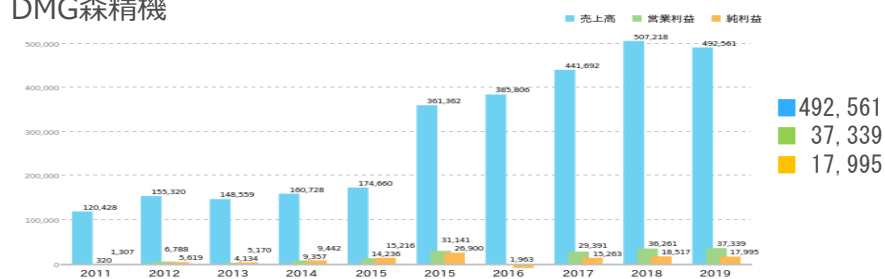
<https://www.click-sec.com/>

## PL (10年)

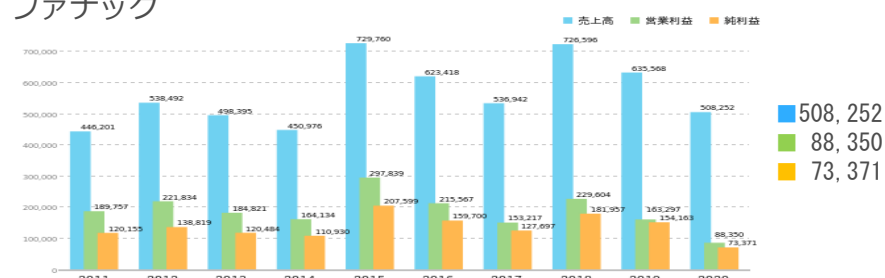
アマダ



DMG森精機



ファナック



■ 売上高、■ 営業利益、■ 純利益

3. 個人ワーク
4. グループワーク
5. 発表

# 参考文献

- 各社ホームページ
- 工作機械のイロハ (<https://www.kousakukikai.tech/machinetools/>)
- 日本工作機械販売協会（工作機械受注統計） (<http://www.nikkohan.or.jp/toukei/>)
- ニッセイアセットマネジメント 金融市場NOW 2020年03月02日号  
(<https://www.nam.co.jp/market/column/trend/2020/200302.html>)
- 業界動向SEARCH.COM ホームページ (<https://gyokai-search.com/3-koki.html>)
- 会社四季報 業界地図 2020年版（東洋経済新報社）
- 生産財マーケティング 浜中 憲一、角澤 明（生産性出版）
- ひと目でわかる! 図解 DMG森精機（日刊工業新聞社）
- 日本のものづくりを支えた ファナックとインテルの戦略 柴田友厚（光文社新書）
- GMOクリック証券 ホームページ

ご清聴有難うございました。

中小企業診断士 竹迫 純一

連絡先 : [junichi.takesako@gmail.com](mailto:junichi.takesako@gmail.com)